

夢や志の実現に向けて  
—ふるさとを愛し、夢に向かって努力を続ける生徒の育成—

文責 (校長) 圓 田 雅 也

—令和6年度 1学期 始業式—(式辞より)

新三年生、新二年生の皆さん、進級おめでとうございます。

いよいよ、新年度が始まりました。本日、皆さんは、心新たに、やる気を持って登校してきたことと思います。今のその気持ちを忘れず、この一年間も頑張ってもらいたいと思っています。

さて、この春休みに行われた第九十六回選抜高校野球大会では、地元兵庫の報徳学園高等学校が決勝まで駒を進め、準優勝を果たしました。二十二年ぶりの栄冠は逃したものの、二年連続で準優勝に導いた大角監督が大事にされてきた言葉があります。それは、「不易<sup>ふえきりゅうこう</sup>流行」という言葉です。この「不易」とは、いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはいけないものという意味です。また、「流行」とは、世の中の変化とともに変わっていくものという意味です。例えば、本校で言うと、校訓である「自主」「友愛」「練磨」は、「不易」にあたります。これは、変わるものではありません。しかし、「流行」は、その時代で変わっていくものです。例えば、「食べ物」や「服装」、「言葉」など、その時代で変わっていくものがあります。このように時代の流れとともに移り変わり、広まるのが「流行」ということになります。今の世の中は、移り変わりの激しい時代だと言えますが、そんな、現代社会だからこそ「守るべきことは守りつつ」そして、「新しいことにも挑戦する」という、気持ちが大切だと感じています。

現在、日本各地では桜が満開の状態を迎えています。桜は、この一年間、寒さや暑さ、時には強風や雪にも負けずに、力を蓄え、年に一度、この時期に花を咲かせます。君たちも、立派な花を咲かせるために、努力を惜しまず、頑張ってもらいたいと思っています。



「明日、七十九名の新入生が入学します。」どうか、新入生が憧れる先輩になれるよう頑張りましょう。

自分の「無限の力」を信じて、「夢」や「志」の実現に向け、努力していくことを期待し、第一学期の式辞と致します。